

(一財)全国地域情報化推進協会 御中				報告日	2022年1月12日
				派遣決定番号	
地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	飯塚市			代表者名	片峯 誠
担当者部署	総務部			連絡先電話番号	0948-22-5500
担当者役職	主任	担当者氏名	川畑 夏希	連絡先E-mail	
住所	820-8501 福岡県飯塚市新立岩5-5				
2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	原 秀樹				
評価	よい				
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体職員ということもあり、行政の業務をよく理解した上で助言をいただいたり、意見交換ができました。全体的に本市に不足していること、今後取り組んだことがよいことなどを親身になってお考えいただき、非常に良い刺激になりました。				
アドバイザーへの要望事項	特になし				
3. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月11日	14時15分	16時30分		135
3-2. 派遣場所	会場名	飯塚市役所		最寄駅	新飯塚駅
	所在地	福岡県飯塚市新立岩5-5		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	フォローアップ(オンライン)			
4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可					
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可				
5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】			人数	
	職員			2人	
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	潜在的な課題があるとは考えているが、職員間でその課題を自覚することがない。また、自覚していても解決方法の提案まで至らず、どのように取り組めばよいか分からないといった問題がある。また、市民サービスに係る庁内業務についても、ICT化、DX化へ進めていくことが重要と理解しつつも、始めの取り組み方で具体的な方法が見いだせず、どのように取り組みを進めていけばよいか分からないといった問題もある。				
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	事業や事務手続きの課題や問題点に対して解決策となる助言をアドバイザーからいただき、具体的な解決方法を見出し、実現に向けて協議、実行する。(具体的には予算要求、業務改善、事務手続きの見直し等)				
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	1日目、2日目に同席いただいたDX推進に関するヒアリングに対して、ヒアリング時に助言いただいたことに追加してアドバイスを受けた。 市役所の全体的な取り組み方法についてアドバイスを受けた。				
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	ヒアリングを実施した課については、助言を受け、デジタル化への取り組みや課題抽出に対して非常に前向きになった。 助言により、多くの情報を収集する術を伺えた。				
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。			⑦その他	
	ヒアリングシート、課題に対する手法等の助言。				

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	目の前の課題の洗い出しはすることができたが、全体的に漠然とした課題や根本的な課題、全庁的なDX化には解決には至っていない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 各課の課題に対するヒアリングのため、特にアンケートの実施なし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	市役所のDX化。市内のDX化に対する取り組みの実施。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

